

授業科目名	人間機能学(形態と機能)	担当教員	◎岡本 明美、上條 友巳子	科目ナンバリング
必修	開講年次：1年後期	単位：4単位	授業形態：講義60時間	NB144

【授業概要】

人体で営まれている生命現象を3つの群、①生命を維持する働き(植物機能)と、②生命を活用する働き(動物機能)、そして③人体を保護して種を保存する機能(防御機能)に区別した視点から、解剖学と生理学を連携させながら学ぶ。

【達成目標】

人間の正常な形態と機能を関連しながら理解する。

【履修条件】

生物学を修得していること。

【授業計画】

[01] 授業ガイダンス、人体の基本構造 1	(岡本)
[02] 人体の基本構造 2	(岡本)
[03] 人体の基本構造 3	(岡本)
[04] 血液 1	(上條)
[05] 血液 2	(上條)
[06] 生体防御 1	(上條)
[07] 生体防御 2	(上條)
[08] 呼吸器系 1	(上條)
[09] 呼吸器系 2	(上條)
[10] 呼吸器系 3	(上條)
[11] 消化器系 1	(上條)
[12] 消化器系 2	(上條)
[13] 肝・胆・膵	(上條)
[14] 循環器系 1	(上條)
[15] 循環器系 2	(上條)
[16] 循環器系 3	(上條)
[17] 神経 1 (中枢神経)	(上條)
[18] 神経 2 (末梢神経)	(上條)
[19] 感覚器系 1	(上條)
[20] 感覚器系 2	(上條)
[21] 内分泌系 1	(上條)
[22] 内分泌系 2	(上條)
[23] 内分泌系 3	(上條)
[24] 腎尿路系 1	(上條)
[25] 腎尿路系 2	(上條)
[26] 生殖器系	(上條)
[27] 骨格系・筋系 1	(上條)
[28] 骨格系・筋系 2	(上條)
[29] 骨格系・筋系 3	(上條)
[30] 骨格系・筋系 4	(上條)

【教科書】

1. 板井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀(2022)：系統看護学講座専門基礎分野解剖生理学第11版、医学書院

【参考書】

1. 菱沼典子(2021)：看護形態機能学第4版、日本看護協会出版会
2. 菱沼典子(2022)：看護形態機能学ワークブック、日本看護協会出版会
3. 田中越郎(2016)：イラストで学ぶ生理学第3版、医学書院
4. 松村譲児(2017)：イラストで学ぶ解剖学、医学書院

【評価方法・評価基準】

1. 筆記試験 60% 2. 小テスト 40%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：各回の授業内容に該当する教科書の章を読む。(2時間)

事後学習：各回の授業におけるキーワードを授業内で周知する。キーワードについて説明できるように復習する。(2時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ、根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

筆記試験の解答は何らかの形で開示する。

【備考】

対象者の健康状態の理解および疾病やその治療の理解に不可欠な基礎知識となるとともに、疾病を持つ患者の理解と適切な看護実践につながるため、真摯に学習に取り組むこと。